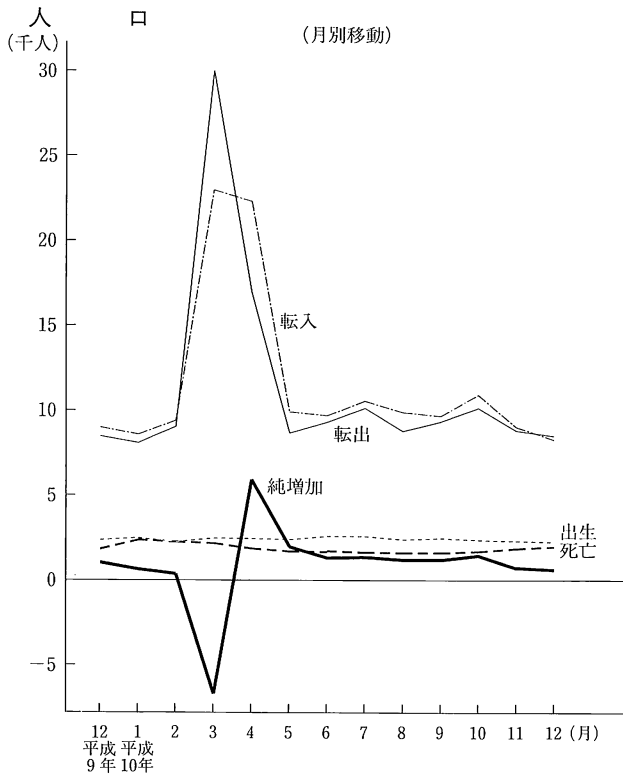
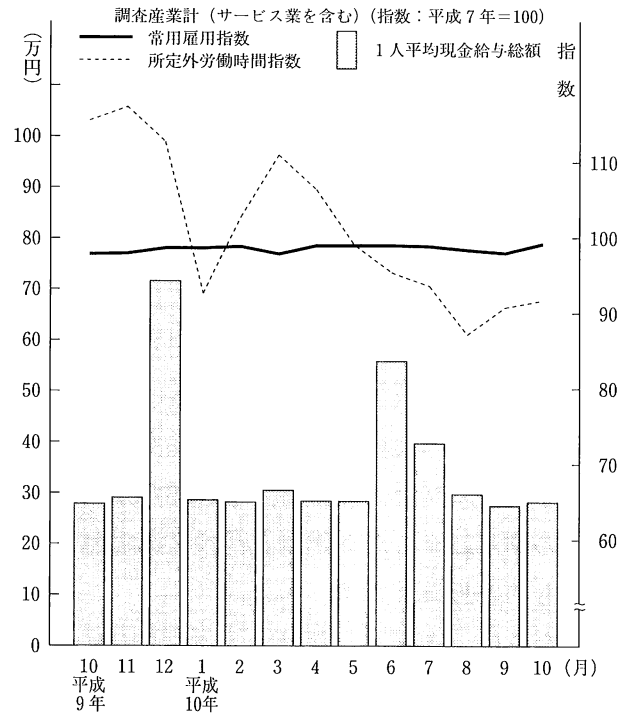


# 今月の主な動き



## 賃金・労働時間・雇用



## ■人口 (11年1月1日)

### 12月の概況

本県の人口は、12月中に61人増加し、1月1日現在で2,995,553人 (男1,495,297人, 女1,500,256人) となった。

内訳は、自然動態で、284人 (出生2,245人, 死亡1,961人) 増加し、社会動態で、223人 (転入8,266人, 転出8,489人) 減少した。前年同月と比べると10,194人 (0.3%) の増加である。

市町村別では、増加が12市30町村, 減少が8市34町村, 増減なしが1村である。

世帯数についても12月中に、400世帯増加し974,766世帯となった。

## ■賃金・労働時間・雇用 (10年10月)

### 1. 平均賃金の推移

10月の現金給与総額は、調査産業計で281,316円, 対前年同月比0.9%増, このうち, きまって支給する給与は274,753円, 対前年同月比1.0%減であった。特別に支払われた給与は、6,563円であった。

### 2. 労働時間

10月の総実労働時間は、調査産業計で158.9時間, 対前年同月比0.9%減であった。このうち, 所定内労働時間は148.9時間, 対前年同月比0.8%増, 所定外労働時間は10.0時間, 対前年同月比20.7%減であった。

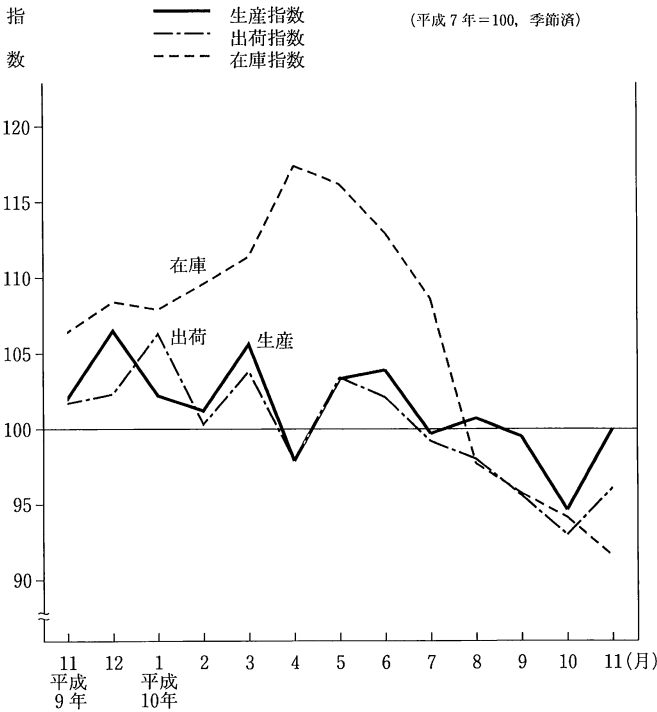
### 3. 雇用の動き

10月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると, 対前年同月比0.3%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお, 事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

■ 鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

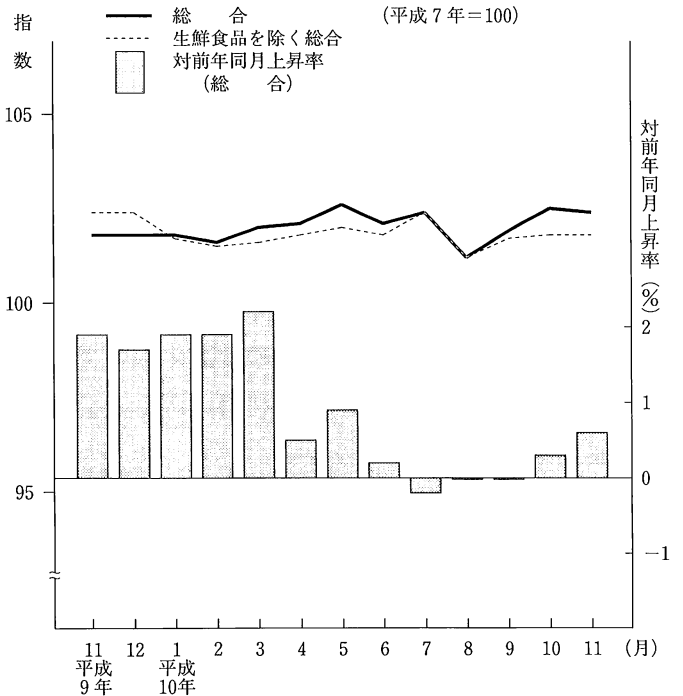


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（10年11月）

本県における平成10年11月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は、季節調整済指数で、生産が100.0、出荷が96.1、在庫が91.6で、前月比は、生産が5.9%の上昇、出荷が6.1%の上昇、在庫が△2.5%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が△2.0%の低下、出荷が△5.5%の低下、在庫が△13.9%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、精密機械工業、一般機械工業、電気機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、鉱業、鉄鋼業等が低下した。出荷では、精密機械工業、一般機械工業、電気機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、鉄鋼業、化学工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、非鉄金属工業、化学工業等が上昇し、輸送機械工業、鉱業、食料品・たばこ工業等が低下した。財別にみると、生産では、資本財、耐久消費財が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財等が低下した。出荷では、資本財が上昇し、その他用生産財、鉱工業用生産財等が低下した。在庫では、鉱工業用生産財が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財等が低下した。

■ 消費者物価指数



■ 消費者物価指数（10年11月）

平成10年11月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で102.4（平成7年＝100）となり、対前月比0.1%の下落、対前年同月比0.6%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……衣料1.6%、履物類0.9%

今月の下がった主な項目……果物8.8%、乳卵類1.5%

生鮮食品を除く総合は101.8となり、対前月比増減なし、対前年同月比0.6%の下落であった。

■ 費目別指数

(平成7年＝100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	102.4	△0.1	0.6	保 健 医 療	112.1	0.1	△0.6
食 料	104.1	△0.3	4.5	交 通 通 信	97.6	△0.1	△1.3
住 居	101.6	△0.2	△0.5	教 育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	101.9	△0.1	△3.0	教 養 娯 楽	99.0	0.2	△1.2
家具・家事用品	96.5	△0.1	△0.5	諸 雑 費	100.8	0.0	△0.1
被服及び履物	110.2	0.8	△0.1	生鮮食品を除く総合	101.8	0.0	△0.6